

利用する親子とスタッフの声

「たくさん親子に来てもらいたいですね。ここは『みんなが心から楽しめる場所』。とにかく楽しくにぎやかに遊びましょう！そんな思いが利用する方々に伝わればうれしいです。毎月の活動内容やイベントを考えていく中で、お母さんたちの意見も取り入れながら作ってるんですよ。何気ない会話がヒントとなり、「おいしい紅茶の入れ方」や「フェイスマッサージ」の講座を実際に開きました。お互いに慣れるまで大変かもしれませんが、私たちは育児のサポート役です。いろんなことを一緒に考えていきましょう。待ってますよ！」



安藤 志帆さん(新町)
乃咲ちゃん(3歳)
週2~3回くらい利用しています。家に親子です〜つといるとストレスが溜まるので助かります。お母さん方も気さくな人が多いので入りやすいし、先生もフットワークが軽いので孤立することはありませんね。



細井 恵子先生



宮本紗綾乃さん(本郷)
陽彩衣ちゃん(3歳)
暁征くん(9カ月)
子育てしている中で息がつまる場面もありますが、ここに来ることが親子ともに気持ちよくなってます。札幌から越してきたんですが、センターのおかげで多くのママ友ができました。



交流の輪



瀬背 真代さん(浜厚真)
莉央ちゃん(1歳)
きっかけは、主人の同僚の奥さんに誘われたから。地域に子供同士が遊べる施設・場所がないので、遠いんですけど通ってます。ここに来ることで、マチの情報を得て行事などにも参加できるようになりました。



松本佐智子さん(新町)
侑大くん(2歳)
毎月の『あそびの広場』は毎回参加してますよ。子どもの表情を見てたら楽しんでるのがよくわかります。指あそび、読み聞かせ、工作、お遊戯など遊びのメニューが充実。家でできない遊びができていいですね。



深敷 理恵さん(樺丘)
光希くん(2歳)
センターに通うようになって子供が人見知りしないようになりました。同年代と交流することで、親子ともに成長しているのかなと思います。一人っ子なので、ケンカする事の大切さなんかもここで覚えてますね。

気軽に利用しよう！
『子育て支援センター』
町内にお住まいの子育てにかかわる人なら誰でも利用可能な『子育て支援センター』を皆さんは知っていますか？
就学前の親と子どもが気軽に集い、子育てに対する不安や悩みの相談、子どもたちも愉快地遊べる『みんなのひろば』なんです。
平成16年に厚真町初の子育て支援センターが京町保育園に開設。以来、たくさんの親子が利用し交流の輪を広げています。あつまの子どもたちの未来を広くむくことを目的に、厚真町次世代育成支援行動計画として平成17年には『つくしんぼプラン』が策定され、すべての子育て家庭を応援しています。

親子の笑顔がひろがり 今日もやさしい風が吹く 『子育て支援センター』

平成17年3月、町では子育てを町全体で支えることをまちづくりの重要な課題ととらえて『つくしんぼプラン(厚真町次世代育成支援行動計画)』を策定しました。

平成22年4月からは、その後期計画(平成22年度~26年度)がスタートしています。

今回の特集では、子育て奮闘中のお母さん・お父さんはもちろん、その家族の方々にも気軽に身近な存在に感じてほしい“場所”である『子育て支援センター』の事業などについてご紹介します。

子育て支援センターってこんなところですよ。

年齢の近い子ども同士が遊んだり、親たちが育児についての情報交換をしたり、スタッフに相談したり…。

リラックスした気分で、育児の身体的、精神的負担を軽減できる“ひろば”です。

■ 利用対象…町内に住所を有する就学前の子どもとその家族。子育てに関わっている人なら誰でも利用できます。

■ 利用時間…月~金曜日。午前10時~11時半、午後は1時~4時です。土・日曜日、祝祭日、年末年始はお休みです。

■ 活動内容…育児相談・親子遊びなど。詳しくは右記の『ゆうゆう島』情報を参考にしてください。

(※毎月の広報紙で活動内容を紹介しています。月によって内容は変更します)

特集 みんなおいでよ！ はじける笑顔のひろば

キッズ11月の予定 子育て支援センター「ゆうゆう島」情報

月	火	水	木	金
1 「Hello えいご!」、開放日	2 開放日	3 休館日	4 開放日	5 開放日
8 「Hello えいご!」、開放日	9 開放日	10 あそびの広場『うさぎのマラカス』※敬老の日プレゼント前日までに予約してね	11 開放日	12 開放日
15 開放日	16 開放日、保育園ホール開放	17 子育て講座『ベビーマッサージ』(要予約)	18 開放日	19 開放日
22 開放日	23 休館日	24 あそびの広場『かくれんぼツリー』※前日までに予約してね	25 開放日	26 開放日、午後はおもちゃ洗いのため休館
29 開放日	30 開放日	毎週水曜日の午後はサークル活動利用日です。お母さんたちの集まりにご利用ください。(予約が必要です)		

★子育て支援センター「ゆうゆう島」ホームページはこちらからどうぞ！
厚真町ホームページ <http://www.townatsuma.lg.jp/>
→トップページ→教育・文化→子育て支援センター

特集 子育て支援センター

一人で悩まず上手に利用して「笑顔で楽しむ子育て」を
 子育て支援センターを利用する必要性を感じていない子育て家族も、もしかするといるのかもしれない。ですが多くの場合子育てにおいて『悩まない（あるいはストレスを感じない）』という人は、ほとんどいないのではないだろうか。時には周りの人に愚痴をこぼし、共感を得ることはストレスを溜めないためにも大事なことだと思おうのです。
 だから子育てが「ちょっとしんどいな」と思った時には、ぜひ子育て支援センターへはじける笑顔のひろばのことを思い出し、遊びに行ってみませんか。
 これからも、親子で交流の輪がひろがる空間であることを願っています。



子育て講座「親子料理教室」

一人で悩まず上手に利用して「笑顔で楽しむ子育て」を

支援センター開設以来、週3~4回のペースでお手伝いに入っています。遊びに来る子たちは、お利口さんはがりがりでも感心します。ここでお母さん同士が友達になっていく場面を見ると、なんだか私もうれしくなります。



柳田 由美先生

平成21年度『子育て支援センター』を
 これだけの親子が利用しました。

平成21年度
 子育て支援センター利用者数

月別	利用者人数合計	利用者率
4月 (開放日数 20日)	合計114世帯	5.7世帯
5月 (開放日数 18日)	合計104世帯	5.7世帯
6月 (開放日数 22日)	合計167世帯	7.6世帯
7月 (開放日数 21日)	合計134世帯	6.5世帯
8月 (開放日数 19日)	合計105世帯	5.5世帯
9月 (開放日数 18日)	合計120世帯	5.5世帯
10月 (開放日数 19日)	合計76世帯	4.0世帯
11月 (開放日数 16日) インフルエンザの為3日間閉鎖	合計42世帯	2.6世帯
12月 (開放日数 19日) インフルエンザの為の影響	合計84世帯	4.4世帯
1月 (開放日数 15日) インフルエンザの為の影響	合計82世帯	5.5世帯
2月 (開放日数 19日)	合計101世帯	5.1世帯
3月 (開放日数 21日)	合計149世帯	7.3世帯
合計 (開放日数 227日)	合計1276世帯	5.6世帯

世帯数50件(子供の人数兄弟を含めて56人の登録)
 ※月平均利用者数 106.5世帯
 年間延べ利用者数 1,276世帯
 1276 ÷ 227日 = 5.6(1日平均利用率)



厚真町子育て支援センターは、育児相談や情報交換をする機会が少ないお母さんたちが気がねなく集まり、つながりあうことのできる場です。

いろいろな情報の提供や子育てでわからないことがある場合は、職員が相談に応じています。また、子育てサークル活動や子育てに関する講座の開催なども行っております。

子どもの健やかな育ちと、よりよい子育てにつながりますよう皆さんお気軽にご利用ください。

子育て支援センター長
 加藤 恒光

問い合わせ先
 子育て支援センター
 ☎27-2438(直通)

「学び・体験の場」の提供
 『未来を担う子どもたちへ』

子育て支援センターは、子育て真っ只中の親だけが活用しているわけではありません。子どもたちと遊んだりふれあうのが好き、将来保育士を志している高校生、短大・専門学校などにとっても、体験や実習の場として重要な役割を果たしています。

ほぼ毎年、6月に職場体験として保育園で受け入れられた高校生が、支援センターにもお手伝いに入り、子どもたちと楽しくふれあっています。

そして短大・専門学校生は、保育士の卵として専門的な部分を実習の中で学び、子育てについて考へるきっかけづくりとして、子どもたちだけではなかなか直接会話をしたり、学校で習った理論を実践できる「学びの場」にもなっています。

体験取材
 支援センターに行ってきました

まずは自分の目で見る、子どもにふれる、お母さん方の世間話にまぜてもらおう。体験することが大切だと思い「子育て支援センター」で半日を過ごしてみました。10月12日午前10時、総合ケアセンターゆくりで「歯科検診」もあったせいか続々と親子が訪れ、15分後には早くも13組目が来園。子どもたちは自由気ままにおもちゃや遊具で遊び、その横でお母さんたちは育児などについて楽しくおしゃべり。支援センターの利用は主に午前中が多く、曜日は天候状況や家庭での家事の状況などで利用状況がまちまちのこと。室内を眺めていると子ども同士が夢中で遊んでいる間に、スタッフに育児についての相談をしたりとお母さんたちが有意義に支援センターを利用している姿が見受けられた。お母さんの一人は「他のマチから今年引越してきた。この支援センターはイベントなども多いし、母親だけの講座や教室もあるなんて初めてでうれしい」との声もあった。



年1回行われるママさんの人気イベント「フリーマーケット」



「イモほったどお〜」

『あそびのひろば』って何?
 体験取材

毎月2回、支援センターで行われている『あそびのひろば』に行ってきました。10月13日、この日参加した親子は、10組22人。いつもこれぐらいは集まっていると先生はニコッと笑い、話す。『あそびのひろば』は10時半にスタートし、全員で「おはようございます」のあいさつから始まり、指遊、絵本の読み聞かせ、工作、お遊戯、カードゲーム、パネルシアターとたくさんの遊びが凝縮されている。驚いた。この空間を子どもたちは縦横無尽に走り回っている。ひとしきり遊んだあとは、アンパンマンのあいさつで解散した。親子が入れ替わりながら丸6年続いている『あそびのひろば』、子どもたちを飽きさせず遊ばせてあげることが一番の目的だ。多種多様な遊びが用意されているためか、50分間があつという間に感じるほどメニューが充実。最後はお母さん方も「あれっ!もう終わり?」と言いたげな表情を浮かべる。1組の親子に『あそびのひろば』について聞いてみた。「敬老の日にメガネケースを作っておじいちゃんにあげたんです。とっても喜んでくれたんですよ」とここで築いた思い出を話してくれた。



畑作ボランティアの方といっしょに、サツマイモやカボチャを収穫する子どもたち



収穫したサツマイモを先生方が焼きイモに! ホクホクの焼きイモをみんなで食べました